

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	こぱんはうすさくら南越谷教室		
○保護者評価実施期間		2025年12月15日	～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44人	(回答者数) 37人
○従業者評価実施期間		2026年1月10日	～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日		2026年2月3日	

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成や見直しにおいて、保護者との共有や連携を大切にしている点について高評価をいただいていると、継続して大切にしていく本事業所の強みであると考えています。	個別支援計画について、職員間で定期的に共有・確認を行い、支援の方向性にズレが生じないよう連携しながら支援を行っています。	個別支援計画について高い評価をいただいている一方で、今後はより一人ひとりの変化や成長を的確に反映できるよう、目標設定や評価・見直しの方法について、さらなる工夫と改善を行ってまいります。
2	保護者アンケートの結果から、日頃より職員間で子どもの様子や特性について共通理解が図られており、一貫した関わりができる点について高い評価をいただいていると受け止めています。	申し送りや記録を活用し、子どもへの理解を職員間で共有する取り組みを日常的に行っています。	職員間での共通理解をより確かなものとするため、情報共有の方法やタイミングを見直し、子どもの変化をより早く、正確に共有できる体制づくりを進めてまいります。
3	子どもが「行きたい」「楽しい」と感じながら過ごせている点や、安心して活動に参加できている点について評価をいたしております。こどもの満足度の高さが強みであると受け止めています。	子どもの気持ちや興味関心を大切にし、安心して過ごせる雰囲気づくりや無理のない活動設定を行うことで、楽しく通える環境づくりを日々実践しています。	子ども一人ひとりの「やりたい」「楽しい」という気持ちをより支援に活かせるよう、子どもの意見や反応を職員間で共有し、活動内容の工夫につなげてまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の放課後等デイサービスや地域の子どもたちとの交流の機会が限られており、集団や社会性を広げる経験の提供が今後の課題であると認識しています。	安全面や感染症対策への配慮、職員配置の都合により、他事業所や地域との交流機会を十分に設けることが難しかったことが要因として考えられます。	職員配置や安全管理を踏まえた上で、他事業所との合同活動や地域資源の活用など、無理のない形で交流の機会を検討・工夫してまいります。
2	家族支援や保護者参加の機会について、十分に確保できていない点が弱みとして挙げられました。	職員配置や業務体制の制約により、家族支援や保護者が参加できる行事・面談等を計画的に実施することが難しかったことが要因と考えられます。	保護者の就労状況や生活リズムに配慮しながら、オンライン等も含めた柔軟な方法で家族支援や保護者参加の機会を検討してまいります。
3	事故防止マニュアルや緊急時対応マニュアル等は整備しているものの、保護者への周知や説明が十分とは言えない点が弱みとして挙げられました。	マニュアルは職員間での共有を主としており、保護者向けに分かりやすく説明・発信する方法の工夫が不足していたことが原因と考えられます。	HUG等のICTツールを活用し、訓練実施状況や安全管理に関する取り組みについて、保護者への情報発信を行ってまいります。